

日本物流団体連合会から 「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞

センコー株式会社(社長:福田 泰久、以下「センコー」と株式会社ランテック(社長:山中 一裕、以下「ランテック」)、東京納品代行株式会社(社長:伊藤 裕之、以下「東京納品代行」)、アクロストランスポート株式会社(社長:大迫 友行、以下「アクロストランスポート」)が、一般社団法人 日本物流団体連合会(会長:渡邊 健二)から「令和元年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受け、11月25日に学士会館(東京都千代田区)にて、表彰式が行われました。

受賞内容は、「改善部門」1件、「有効活用部門」3件、計4件です。

「改善部門」では、センコーが拠点間の幹線区間輸送において、鉄道や海運の利用比率が全体の40%を超えるとともに、モーダルシフト輸送比率を全輸送量の約66%(2017年度)から約70%(2018年度)へ改善したことが評価されました。

「有効活用部門」では、センコーが顧客と共同で行っている、各地サプライヤーから北海道への住宅建材輸送において、奈良県や埼玉県に中継所を設置し、輸送集約することでトラックからRORO船やフェリーによる海上輸送への転換を行ったことが評価されました。

また、ランテックは宮城県から大阪府への冷凍食品の輸送において、10tトラック107台分と、10tトラック120台分の輸送を、それぞれトラックから鉄道へ転換し、この2件の取り組みが評価されたものです。

さらに、東京納品代行とアクロストランスポートは、千葉県から北海道へのアパレル商品の輸送において、10tトラック91台分の輸送を鉄道へ転換したことが評価されました。

トラックドライバー不足を背景に、4社が実施したモーダルシフトへの取り組みが、CO2排出量の削減やドライバーの運転時間削減に効果を上げています。

※2019年11月25日に行われた授賞式。



※写真右から、センコー(株) 福田 泰久社長、
一般社団法人 日本物流団体連合会の
渡邊 健二会長



※写真右から、(株)ランテック 山中 一裕社長
一般社団法人 日本物流団体連合会の
渡邊 健二会長



※写真右から、東京納品代行(株) 伊藤 裕之社長
アクロストランスポート(株) 大迫 友行社長
一般社団法人 日本物流団体連合会の
渡邊 健二会長

以上